

【算数科の目標は...】

算数的活動を通して、数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え、表現する能力を育てるとともに、算数的活動の楽しさや数理的な処理のよさに気づき、進んで生活や学習に活用しようとする態度を育てる。

【1年生では、こんな力を育てます】

<p>★ 具体物を用いた活動などを通して、数についての感覚を豊かにする。数の意味や表し方について理解できるようにするとともに、加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。</p>	<p>★ 具体物を用いた活動を通して、量とその測定についての理解の基礎となる経験を重ね、量の大きさについての感覚を豊かにする。</p>
<p>★ 具体物を用いた活動などを通して、図形についての理解の基礎となる経験を重ね、図形についての感覚を豊かにする。</p>	<p>★ 具体物を用いた活動などを通して、数量やその関係を言葉、数、式、図などに表したり読み取ったりすることができるようにする。</p>

口田小学校では特に...

① 具体物を使った楽しい学習

おはじき、ブロック、身体を用いて、具体的な操作をしながら学習を楽しみ、数や量、形についての感覚を身に付けていきます。

② メリハリのある学習展開

児童一人一人がじっくり考えたり、みんなの考えを出し合ったりする授業の中で、学力を付けていきます。自分でよく考える・自分の考えを発表する・自分の考えと比べながら友達の発表を聞く態度を身に付け、楽しい雰囲気の中で深まりのある学習を展開していきます。

③ 日々の努力を積み重ねる

基礎学力を身に付けるために反復練習を大切にします。課題として家庭学習を出し、日々努力する子どもを育てます。

【評価について】

★ 学習意欲や思考力・判断力・表現力の重視
児童が自ら学ぼうとする意欲的な態度、課題に対していろいろなやり方で考える力を重視して評価します。

★ 多面的な評価

一人一人の児童の活動の様子を観察する行動観察・発表の様子・ノート・ワークシート・ペーパーテストなど、さまざまな面から評価します。

【おうちの方へのお願い】

★ 日々の努力を積み重ねる

基礎学力を身に付けるためには、繰り返し練習することが大切です。宿題として「なかよしワーク」を出しますので、落ち着いて取り組むよう励ましてください。

月	学習内容	学習のねらい
4	1 なかまづくりとかず ○ こえにだしていおう！	○ 10までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、数を用いることができる。10までの数の系列について多面的にみることができる。
	5 2 なんばんめ 3 いくつといくつ	○ 数を用いてももの順序を正しく表すことができ、数で順序や位置を正確に表せることを理解する。 ○ 10までの数の構成を理解し、数を多面的にみることができる。10までの数の合成、分解ができる
6	4 あわせていくつふるといくつ	○ たしざんの意味と和が10以内の計算の仕方を考え、理解し、用いることができる。用いられる場面を理解する。
	5 のこりはいくつ ちがいはいくつ	○ ひきざんの意味と計算の仕方を考え、理解し、用いることができる。用いられる場面を理解する。
7	6 10よりおおきいかず	○ 20までの数の個数の数え方、数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、用いることができる。
	7 なんじ なんじはん	○ 時刻に関心を持ち、時刻を読み取ることができる。また、日常生活に生かすことができる。
9	8 ははば なんこ さいたかな	○ ものの個数を絵や図などを用いて表したり、読み取ったりすることができる。
	9 どちらがながい	○ 長さの比較などの活動を通して、長さや測定についての理解の基礎となる経験や、長さについての感覚を豊かにする。長さを比較する方法を考え、いろいろな方法で比べることができる。
10	10 3つのかずのけいさん	○ 3つの数の計算の仕方を考え理解し、それらを用いることができる。計算の場面を理解する
	11 どちらがおおい	○ 水のかさを比較する活動などを通して、測定についての基礎となる経験や、感覚を豊かにする。 ○ 身の回りにある入れ物に入る水のかさについて、様々な測定の方法を考えることができる。
	12 たしざん	○ 1位数どうしの繰り上がりのあるたしざんの仕方を考え理解し、それを用いることができる。 ○ 10のまとまりに着目することで、繰り上がりのあるたしざんの計算ができることを理解する。
11	13 かたちあそび ○ おぼえているかな	○ 身の回りにあるものの形についての観察や構成などの活動を通して、立体図形についての理解の基礎となる経験や感覚を豊かにする。 ○ 身の回りにあるものの形について、その概形や特徴、機能をとらえ、分類することができる。 ○ 既習内容の理解を確認する。
	14 ひきざん ○ どんなけいさんになるのかな	○ 11～18から1位数をひく繰り下がりのあるひきざんの計算の仕方を考え理解し、それを用いることができる。10のまとまりに着目することで、11～18から1位数をひく繰り下がりのあるひきざんの計算ができることを理解する。 ○ 文章を読んでたしざんかひきざんかを考えて解くことができる。
1	15 どちらがひろい	○ 広さの比較などの活動を通して、広さの概念や測定についての理解の基礎となる経験や広さについての感覚を豊かにする。広さをますのいくつ分の大きさとしてとらえ、数で表現することができる。
	16 20よりおおきいかず	○ 2位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、用いることができる
2	17 なんじなんぶん ○ ビルをつくろう	○ 時刻に関心を持ち、何時何分の時刻を読み、日常的に活用することができる。 ○ 時計の長針や短針の示す目りの意味が分かる。また、時刻のよみ方、模型での表し方が分かる。 ○ 色板の枚数によって、どんな形のビルができるかを式や言葉を用いて表すことができる。
	18 ずをつかって かんがえよう	○ いろいろな場面を図に表し、問題の構造をとらえて考えることができる。 ○ 身の回りにあるものの形を観察したり構成したりするなどの活動を通して、平面図形について理解の基礎となる経験や感覚を豊かにする。身の回りにあるものの形の特徴をとらえることができる。
3	19 かたちづくり ○ ばしよをあらわそう ○ けいさんピラミッド ○ 1ねんのふくしゅう	○ 数を用いた位置の表し方を理解することができる。 ○ 学習したことを総合的に適用して問題を解決することができる。 ○ 1年で学習したことに進んで取り組んだり見直したりして、学習のまとめをすることができる。 ○ 既習の見方・考え方を確かめたり、その関係を考えたりすることができる。既習の計算や測定が適切にできる。

